

高等学校 令和7年度（1学年用）教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～F組

使用教科書：（第一学習社「現代の国語」（現国713））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】実社会に関わりながらそれを向上させるために必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考力および他者との関わりの中での表現力、想像力やコミュニケーション力を深める。

【学びに向かう力、人間性等】言葉が持つ価値を深く認識し、自己を継続的に向上させながら言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
		話・聞	書	読						
第一学期	A 理解編1 「生きもの」として生きる 水の東西 【知識及び技能】語彙 【思考力、判断力、表現力等】論の展開 【学びに向かう力、人間性等】積極性	1 筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。 2 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考え、図示する。 3 東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。	○	○	○		○	○	○	6
	B 理解編2 砂に埋もれたル・コルビュジエ ものことば 羅生門 【知識及び技能】語彙と修辞 【思考力、判断力、表現力等】論理的展開 【学びに向かう力、人間性等】協調性	1 父との過去の会話を重層的に描いた構成を把握し、一冊の本にまつわる三人の人間の思いをまとめ、話すことで相手に伝える。 2 具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。 3 下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を考察して書く。	○	○	○		○	○	○	8
	定期考査1						○	○		1
	C 理解編3 夢十夜 「文化」としての科学 無彩色 【知識及び技能】例示の技術 【思考力、判断力、表現力等】論拠と主張 【学びに向かう力、人間性等】協調性	1 「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかをまとめ、書くことで内容を深める。 2 筆者が主張する科学と技術の違いを対比的に整理し、現状における科学と技術の関係を理解する。 3 ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげる事例を把握する。	○	○	○		○	○	○	6
D 表現編1 情報の探索と選択 論理的な表現 待遇表現 話し方の工夫 【知識及び技能】例示の技術 【思考力、判断力、表現力等】論拠と主張 【学びに向かう力、人間性等】積極性	1 必要な情報を探す方法を理解する。 2 情報の信頼性や妥当性の吟味のしかたを理解する。 3 情報の探索と選択を実践できるようになる。 4 論理的に表現するための主張と理由の関係性や妥当性について理解する。 5 説得力を意識した表現のしかたについて理解する。 6 敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。 7 敬語表現が選択される視点を理解する。 8 相手や場に応じた表現が選択できるようになる。 9 話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 10 相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。 11 相手により伝わりやすい表現方法を理解する。	○	○	○		○	○	○	6	
定期考査2						○	○		1	
E 理解編4 現代の「世論操作」 鏡 フェアな競争 【知識及び技能】主張の根拠 【思考力、判断力、表現力等】特徴的な表現 【学びに向かう力、人間性等】他者理解	1 情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持つ。 2 恐怖体験の一つとして語られる、幽霊でも超常現象でもない、人の内面に潜む恐怖について、本文を根拠に無いようをまとめる。 3 筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。 4 生徒による発表。	○	○	○		○	○	○	8	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・ 聞	書	読					
第二 学期	F 論理・分析1 【具体と抽象】日本語は世界をこのように捉える 【対比】「間」の感覚 【知識及び技能】対比の技術 【思考力、判断力、表現力等】具体と抽象表現 【学びに向かう力、人間性等】他者への共感	1「論理の型」（具体と抽象）を学ぶ。 2「論理の型」（対比）を学ぶ。	○	○	○	【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基的に確に捉え、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く言葉の意味への理解に努め、学習課題に沿って筆者の主張を踏まえ、言葉の働きについて自分の考えをまとめようとしている。	○	○	○	6
	定期考査3					○	○		1	
	G 理解編5 城の崎にて ロビンソン的人間と自然 不均等な時間 【知識及び技能】主張の根拠 【思考力、判断力、表現力等】具体から一般へ 【学びに向かう力、人間性等】継続性	1 三つの小動物の死と関連して心境が語られる構成から、作中に示された死生観について各自の考えを文章にまとめる。 2 「ロビンソン・クルーソー」を例として取り上げた筆者の意図を整理したうえで、主張を把握する。 3 具体的事例から一般論への展開と、対比の構造とを手がかりとして、近代化と時間の合理性との関係を理解する。	○	○	○	【知識及び技能】 社会と自己との関わりにおいて理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基的に確に捉え、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く言葉の意味への理解に努め、学習課題に沿って筆者の主張を踏まえ、言葉の働きについて自分の考えをまとめようとしている。	○	○	○	8
	H 論理分析2 【推論】A Iは哲学できるか 【事実と意見】「私作り」とプライベート 【知識及び技能】推論 【思考力、判断力、表現力等】事実と意見 【学びに向かう力、人間性等】継続性	1「論理の型」（推論）を学ぶ。 2「論理の型」（事実と意見）を学ぶ。	○	○	○	【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基的に確に捉え、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く言葉の意味への理解に努め、学習課題に沿って筆者の主張を踏まえ、言葉の働きについて自分の考えをまとめようとしている。	○	○	○	6
定期考査4						○	○		1	
第三 学期	I 理解編6 図書委員会のポスターの掲示内容を検討する/ 学校新聞の記事内容を検討する/ 日本の労働問題に関わる資料を読み比べる/ 法律の改正に関わる文章を読み比べる 【知識及び技能】情報の活用 【思考力、判断力、表現力等】資料の理解 【学びに向かう力、人間性等】常識・理性	1与えられた資料と会話文を関連づけながら、課題に即して必要な情報を読み取り、表に書く。 2与えられた資料と会話文を関連づけながら、課題に即して必要な情報を読み取り、図示する。 3労働問題に関わる資料を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の情報を関連づけて理解したことを一覧表にまとめる。 4改正前後の法律文を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の文章を関連づけながら理解したことを書き出す。	○	○	○	【知識及び技能】 他者に情報を発信することの意義を理解している。個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に情報の収集や整理をし、学習課題に沿って伝える相手の理解が得られるように、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方を意識して、自分の意見を文章としてまとめようとしている。	○	○	○	6
	J 論理分析3 【主張と反論】「動機の語彙論」という視点 【主張と根拠】デザインの本意 【知識及び技能】主張と反論 【思考力、判断力、表現力等】論理構築力 【学びに向かう力、人間性等】創造性、他者への意識	1「論理の型」（主張と反論）を学ぶ。 2「論理の型」（主張と根拠）を学ぶ。 3 生徒間での読解の確認。	○	○	○	【知識及び技能】 論理的に思考ができていて、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章を通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基的に確に捉え、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く筆者の考える主張について理解を深め、学習課題に沿って筆者の意見や論理構成について考察し、自分なりの読解をしている。	○	○	○	6
	定期考査5					○	○		1	
K 表現編2 理想の修学旅行をプレゼンする相手に伝える案内をする スピーチで自分を伝える 情報源の明示 【知識及び技能】主張の根拠 【思考力、判断力、表現力等】的確な表現へ 【学びに向かう力、人間性等】他者への配慮	1情報を大勢の聞き手にわかりやすく説明するプレゼンテーションの方法を理解し、原稿にする。 2効果的なスライドの作り方を理解する。 3目的に沿って的確に案内する方法を理解する。 4相手に配慮しながら案内する方法を理解する。 5相手や場の状況を押さえて案内することができる。 6自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、原稿にする。 7他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を学び、その長所を文章化する。 8引用の目的とその効用を理解する。 9引用の具体的な方法を理解する。 10引用を適切に活用できるようになる。	○	○	○	【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章を通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基的に確に捉え、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く筆者の考える主張について理解を深め、学習課題に沿って筆者の意見や論理構成についての考察を深めようとしている。	○	○	○	7	
			22	33	18				合計	78